



向陵広場

発行号 第68号

発行日 令和2年12月17日(木)

発行元 向陵編集校友会

責任者 伊藤有司 (県商10回卒)

和菓子は四季の美しさの造形美 加藤 孝久 氏 県商 49 回卒 (平成 12 年 3 月)

店 歴

店 名 和菓子の「中原屋」(二川宿本陣資料館に近い)

創 業 大正 7 年

初 代 加藤 総吉

二代目 加藤 巳代次

三代目 加藤 芳康 (県商 24 回卒)

四代目 加藤 孝久 (県商 49 回卒)

新たな風味をお客様に提供する

私が子供の頃のことをよく思い出します。それは、朝早く私が夢を観ている頃に職人の父が厨房で具材を蒸したり、煮込んだり、味付けしたり等の仕事に忙しい時間のことです。和菓子の甘い香りが部屋中に漂いそれにつられて夢から覚め起床する毎日の習わしでした。

豊商卒業後は豊田市の店に4年、千葉市の店に5年の歳月を修業のために過ごしました。

その後実家に戻り、父から譲り受けた「中原屋」伝統の味を守り、修業で得た味を加え、独自の和菓子をお客様に賞味して頂くべく努力をしています。更に父からアドバイスを受け、より良い和菓子作りを心掛けています。

